

# Forest 通信 H28 7

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター NO.329

巻頭 photo **高尾山の生きものたち**

## ホトトギス (カッコウ科)

「東京特許許可局？」 ホトトギス(カッコウ科)  
♪トウキョウトッキョキョカキョク♪と聞きなしされる野鳥が「ホトトギス」と言うことは、多くの方々のご存知と思われるが、その姿をじっくり見た方は非常に少ないと思われます。長年、野生鳥獣の撮影をしておりますが、こんな至近距離(約15m)からの撮影は初めてで、超ラッキー!!

良き撮影ができた時は、心浮き浮きでその日一日幸せ気分です。

今月の一句

「ありがとう 撮らせてくれた 感激だ」

(フォレストサポートスタッフ 大作栄一郎)



## 二美ちゃん富ちゃんの クサギ (クマツヅラ科)



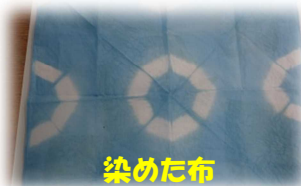
林縁の日当たりのよいところに生えている。普段は目立たない木である。森林散策で小学生を案内した時にクサギの葉のにおいをかいでもらったら「いい臭いがする」という生徒が10人中7人いた。私もこのクサギのにおいは好きなほうだ。この植物の名前の由来が臭いからだとなると、どうなんだろうという気がする。

このクサギは色んな利用の仕方があるが、案外スルーされているのでは無いかと思う。食べる方では山菜としての利用で葉を湯がいて水にさらして食べると、結構いける。夕餉(ゆうげ)の食卓に出しても違和感なく食べられた。救荒(きゅうこう)植物だと書物などで読んだことはあったが実際に食するとおいしい部類に入るのではないかと思う。ハナイカダのおいしさに負けず劣らずというところか。昔からクサギを食べている地域があるが、そのおいしさを知っていたのだろう。

また、クサギの葉は草木染めの緑葉染め(緑色に染まる)に利用できる。森林の中にある樹木の緑色の葉は実は緑色には染まらない。たいがい黄色系の色にしか染まらないのだ。秋の木の実には青色をしていてスカイブルーに染めることができる。藍染め以外でこの色を出せる染料はないのではないか。ただし、クサギの実には熟したところにヒヨドリが食べにくるのでいつのまにか無くなってしまいうので簡単には手に入らない貴重なものになっている。(富)



クサギ



染めた布



葉のお浸し



この実で染める

# 森林カレッジⅠ～森林の見方～開催される

平成28年度森林カレッジⅠが、5月28日(土)に開催されました。様々な分野や職業の方々34名が参加しての、熱気あるイベントです。

午前中は「森林の見方」について森林・自然環境技術者教育会会長の桜井尚武(さくらいしょうぶ)先生からの講義がありました。天然林と人工林、人工林の管理のあり方、里山資本主義といった多彩な切り口からの講義となっており、参加者からは「新たな視点で森林を見ることが出来るようになった」と、ポジティブな意見を多く頂きました。



新緑の稲荷山コース



桜井先生の講義



樹木や植物に興味津々

午後からはいよいよ、高尾山での現地観察です。尾根沿いの稲荷山コースを進んでいくと、樹木はもちろん多種多様な植生を観察することができます。そして、ポイントごとに講師から樹木、植物についての解説もあり、参加者は熱心に聞き入っていました。この時期の高尾山は、春の花々と初夏の新緑が入り交じって、エネルギッシュな景観を醸し出しています。



歴史ある巨木の森に行く



いざ、出発！！

見所が盛りだくさんの現地観察を終えて、参加者は一様に満足そうな表情で下山していきました。

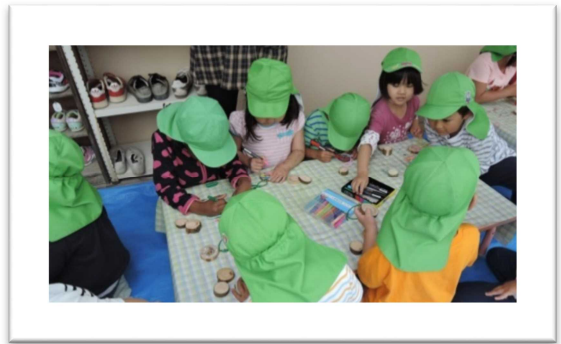
今後、カレッジⅡからⅣまで一年を通じ、同じメンバーでの学習を行います。終了する頃には参加者の絆も深まり、いずれは高尾森林ふれあい推進センターを支えて頂ける貴重な人材が育ってくれることでしょう。(磯)

# 森 林 教 室

5月30日（月）に、三鷹市の保育園へ出向き、年長児25名を対象に森林教室を実施しました。

当日は、朝から雨模様。天気を気にしながら雨天用のシート等を準備し出発しましたが、保育園到着時にはほぼ雨も上がり予定どおり森林教室を開始。最初にパワーポイントによる紙芝居「もりのすぢちゃん」で森林学習を行い森林の大切さについて学びました。森林学習が終わる頃には心配した雨もやみ、今度は教室から外に出てみんなが楽しみにしていた丸太切りを体験しました。初めてノコギリを使う園児たちは「切れない」「大変」と言いながらも全員が2回の丸太切りに挑戦し、2個の輪切りをゲット。「この木いいにおい」と木の香りをかいだり、みんなで見せあいっこしながら大はしゃぎでした。

最後は、センターで用意した輪切りを使ってキーホルダー作りを行いました。みんなが思い思いの絵を描き、中には大人顔負けの絵を描いた園児もいてびっくり。全員が絵を描き終え完成したキーホルダーを披露して森林教室が無事終了。短い時間ではありましたが、みんなから「ありがとうございました」とかわいい元気な声を聞き心地良さを感じた1日でした。（谷）



## 森 林 教 室

## 八王子市立みなみ野小学校

5月13日、八王子市立みなみ野小学校の3年生105名を対象に森林教室を実施しました。学校では、「ぼくの木わたしの木」として、校庭や中庭にある樹木を選び、1年間その樹木を観察する学習を行っています。森林教室は、子どもたちが樹木を選ぶ前に、校庭にある樹木についてわかりやすくパワーポイントで解説したものです。

当日は、校庭の主要な32種類の樹木について、樹木の特徴や名前の由来などを解説しました。解説の途中「お歯黒！！知っている。」「山桃は食べれるんですか？」などの声が聞こえてきました。子供達は「ぼくの木わたしの木」を選ぶために真剣に聞いていました。

二度目の森林教室を6月23日に開催しました。今回は校庭に出て子供達の選んだ「ぼくの木わたしの木」の説明を受け、一年間の観察に役立つものです。森林教室の当日、午前中は雨模様でしたが、森林教室が始まると日差しが照るほどに天候も回復しました。センター職員は樹種毎に数本を受け持ち、

説明する樹木を選んだ子供達を中心に説明をしました。木の特徴、木材の質、名前の由来など改めて聞く説明に、「高さは何メートルですか」、「椿油どのように作るの?」、「木の実はなぜ赤くなるの?」などの質問が矢継ぎ早に飛びだし予定していた時間では足りないくらいでした。子供達はこれから一年間観察し樹木に、そして森林に興味を持ってもらい、5年生で実施する森林教室での再会を楽しみにしています。（皿）



6月10日、八王子市立みなみ野小学校5年生88名が森林教室にやってきました。高尾山近郊の子どもたちとあって、丸太切りも上手な子が目立ちました。パワーポイントを使っての森林学習では、「高尾山には動植物が数多く生息していますが世界中では何種類の動物がいますか？」と質問があり「・・・」となった瞬間も。子どもの想像力は大人が予測できない部分が多く、森林教室では毎日が新たな発見に満ちています。

午後からは、お待ちかねの森林観察です。スギ・ヒノキの大木の森を通過して新緑の林道へ出ると、今度はオタマジャクシや沢ガニがお出迎えです。帰りのバスの窓からは、たくさんの笑顔をもらい職員一同も満足の日でした。（磯）



「山の日」制定記念イベント 【高尾山エリア】



みんなの知らない高尾山の森林



奥高尾の道を、少し違った見方で歩いてみませんか？

主 催：林野庁 関東森林管理局  
 実施日：平成28年8月21日（日）  
 集合解散：高尾山山頂（高尾ビジターセンター前）  
 行程概略：高尾山山頂～もみじ台～一丁平～（大平林道経由）～高尾山山頂【距離約5km、5時間程度、延べ高低差400m程度】  
 募集人員：15名（最小催行人数 5名）  
 ※応募者多数の場合は抽選とします。  
 持参する物：弁当、雨具、帽子、保険証（写）、飲物、着替え等※熱中症対策をお願いします。  
 荒天の場合：雨天決行  
 ※台風等が予想される場合は8月19日（金）17時まで中止の連絡をいたします。  
 参加費：100円（保険料）

確認通知：8月10日までに、イベント参加確定のご連絡を差し上げます。  
 申込締切：8月5日（金）必着  
 申込方法：関東森林管理局ホームページのイベント情報から、イベントチラシ（裏面が申込書となっています）をダウンロードして必要事項を記入の上、下記までFAXもしくは郵送してください。  
 【関東森林管理局 技術普及課】  
 〒371-8508  
 群馬県前橋市岩神町4-16-25  
 電話：027-210-1176  
 FAX：027-210-1177  
 （担当：堀江・栗本）



編集後記

梅雨もそろそろ終盤というのに首都圏の水がめは深刻な渇水状態。しかしイベント運営では好天に恵まれるので助かっている。7・8月は夏休みとなるので様々なイベントも一段落しそうだが、すでに9月は事前の予約で飽和状態となっている。少数精鋭？のスタッフ陣だが、さすがに週2回のペースでイベントが続くと、おじさん達のエネルギーも深刻な渇水状態となりそう……。でも、純情無垢な子どもたちから十分なエネルギーをもらえるのだから、幸福な悲鳴だよ。 （磯）



Forest 通信 No.329

発行：林野庁関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センター  
 【ご意見、ご要望及びイベント情報のお問合せ先】

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター  
 〒193-0844 東京都八王子市高尾町 2438-1  
 電話 050-3160-6040 FAX042-663-7229  
<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>